

腫瘍マーカー検査

種々の悪性腫瘍の存在で出現する蛋白質や抗原を調べます。健常人でも異常値を示すことがあります。陽性と判定された場合は定期的に経過観察するか、一歩進んだ検査をする必要があります。

CEA	主に、大腸・胃などの消化器癌、肺癌で上昇します。また、喫煙の影響でも上昇するので、喫煙者で陽性の方は、節煙後、再検査をして値が低下することを確認する必要があります。
CA19-9	膵臓癌、膵炎で上昇します
AFP	原発性肝臓癌で上昇します。慢性肝炎、肝硬変のある場合は、定期的にAFPの経過観察をするとともに、腹部超音波検査で肝腫瘍の存在をチェックする必要があります。
PSA	前立腺癌で上昇します。前立腺肥大でも軽度上昇します。
CA125	